

事務事業名		佐野市公害対策会議支援事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	1	地域の特色を活かした快適なまちづくり			担当	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課
	政策	3	環境にやさしいまちづくり			組織	担当係	環境保全係	担当課長名	川俣 浩
	施策	2	良好な生活環境と豊かな自然環境の保全			新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	1	良好な生活環境の保全			実施計画事業・一般事業		一般事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名				
	7738	一般	4	1	6	佐野市公害対策会議支援事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S52年度～ 年度		根拠法令 条例等	市単独事業・国県補助事業		市単独事業		
						任意的事業・義務的事業		任意的事業		
						実施方法		直営		
						事業分類		支援事業		
						リーディングプロジェクト		該当なし		
						市長マニフェスト		該当なし		

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)									
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成28年度実績(平成28年度に行った主な活動内容)				
粉じん公害を未然に防止し、市民の健康と良好な生活環境の保全のために、市民、国、県、市及び事業者で組織する佐野市公害対策会議(以下、公害対策会議)に対し交付金を交付し支援する。					公害対策会議に交付金を交付するとともに、当会議の事務局として運営に協力した。				
公害対策会議の活動									
7月 会議開催									
10月 先進事業所への視察等を実施									
1月 粉じん発生事業所への立入り及び指導を実施									
活動指標		単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)		
公害対策会議の実施事業数		事業	3	3	3	3	3		
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)									
公害対策会議			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(見込)
公害対策会議			団体	1	1	1	1	1	1
目的									
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)									
公害対策会議が実施する粉じん対策活動を支援する。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
公害対策会議の実施事業数			事業	3	3	3	3	3	3
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)									
良好な生活環境が維持されている			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)
近隣公害苦情件数			件	271	246	271	232	180	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)			
	国庫支出金	千円								
	県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	一般財源	千円	300	300	294	288	282			
	事業費計(A)	千円	300	300	294	288	282			
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費		
			19交付金	300	19交付金	300	19交付金	294	19交付金	288
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1		
	のべ業務時間	時間	90	90	90	90	90			
	人件費計(B)	千円	350	355	350	346	346			
	トータルコスト(A)+(B)	千円	650	655	644	634	628			

事務事業名	佐野市公害対策会議支援事業	担当部	市民生活部	担当課	環境政策課	担当係	環境保全係
-------	---------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和52年7月に、旧葛生町で粉じん対策のため「葛生町公害対策会議」が設立され、合併後「佐野市公害対策会議」として承継された。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	粉じん量である降下ばいじん量は、事業開始当初より大きく下がっており、近年は横ばい状態にあり、事業場での対策は一定の効果が表れている。道路粉じんについては、改善を必要としている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	特になし。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(コストの見直し)	事業の見直しにより交付金の削減を図る。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 公害対策会議に対し支援を行うことは、粉じんによる大気汚染の防止になるものであり、政策体系上の良好な生活環境の保全に貢献している。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 公害対策会議は、粉じんによる大気汚染の防止に結びつく事業を直接実施している。支援は市が意図して行うべきである。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 交付金を公害対策会議に交付し、粉じん対策を行うことであり、対象と意図は妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 事業所等と連携して新たな事業に取り組むことで、向上できる余地はある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	事業費の削減余地がある	理由・改善案 補助金等検討委員会による見直し提言に基づき、計画的に減額している。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 本事業は良好な生活環境を保全するための団体の活動を支援するものであり、受益者負担を求める性質の事務ではない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	葛生地区における降下ばいじん量が、ある程度まで低下し安定した状態	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																							
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	事業のやり方改善(コストの見直し)	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin: 10px auto;"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>①②</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	①②			維持			×	低下		×	×	
			コスト																							
		削減	維持	増加																						
成果	向上	①②																								
	維持			×																						
	低下		×	×																						
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) ①関係事業所との連携を強化する ②補助金の削減 ③実施事業の見直し																										